

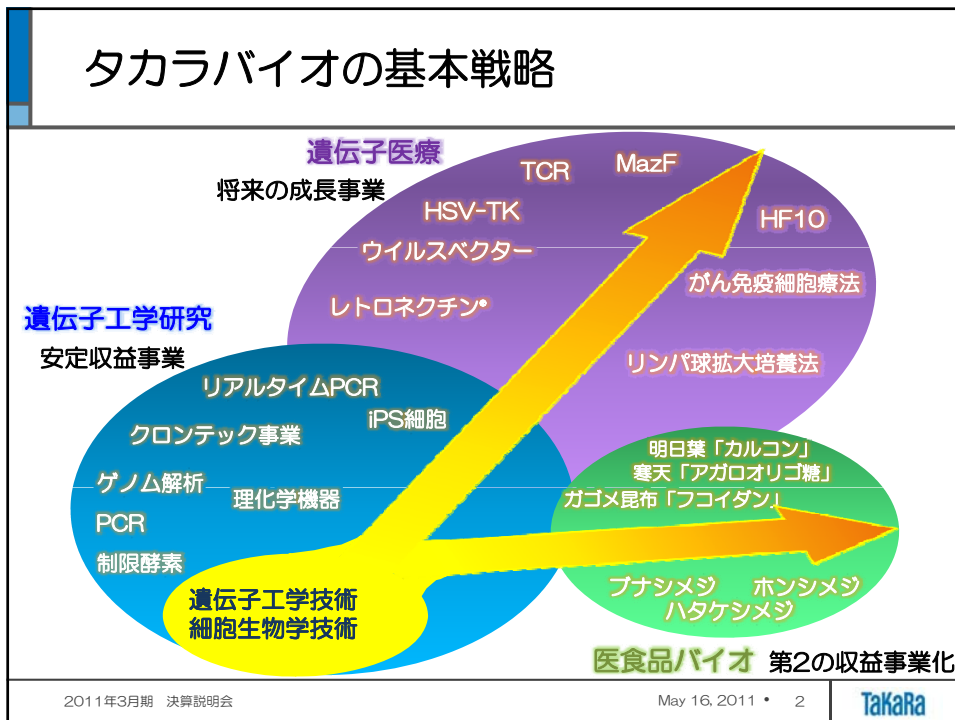


2011年3月期 決算説明会

業績レビューと今後の重点戦略および施策

タカラバイオ株式会社
取締役社長 仲尾功一

平成23年5月16日



連結業績

11/03期

(単位：百万円)

	11/03期	1/28見込比		前期比	
		増減	増減率	増減	増減率
売上高	18,737	▲162	▲0.9%	▲588	▲3.0%
売上原価	8,858	▲77	▲0.9%	▲428	▲4.6%
売上総利益	9,878	▲85	▲0.9%	▲160	▲1.6%
販売費及び一般管理費	8,781	▲382	▲4.2%	▲704	▲7.4%
営業利益	1,097	+297	+37.1%	+544	+98.4%
経常利益	1,276	+276	+27.6%	+411	+47.6%
当期純利益	605	+4	+0.8%	+14	+2.5%

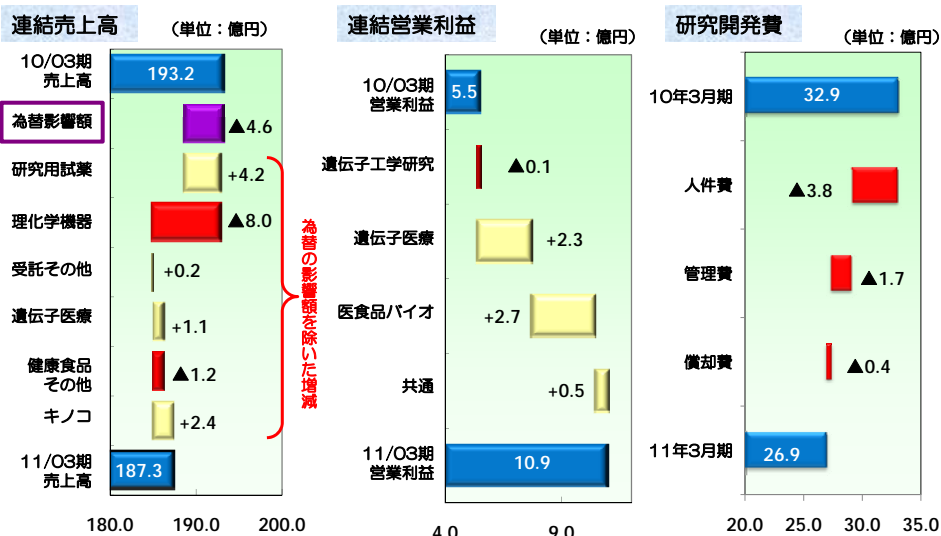
2011年3月期 決算説明会

May 16, 2011 • 3

TaKaRa

売上高・営業利益・研究開発費（連結）＜前期比増減＞

11/03期



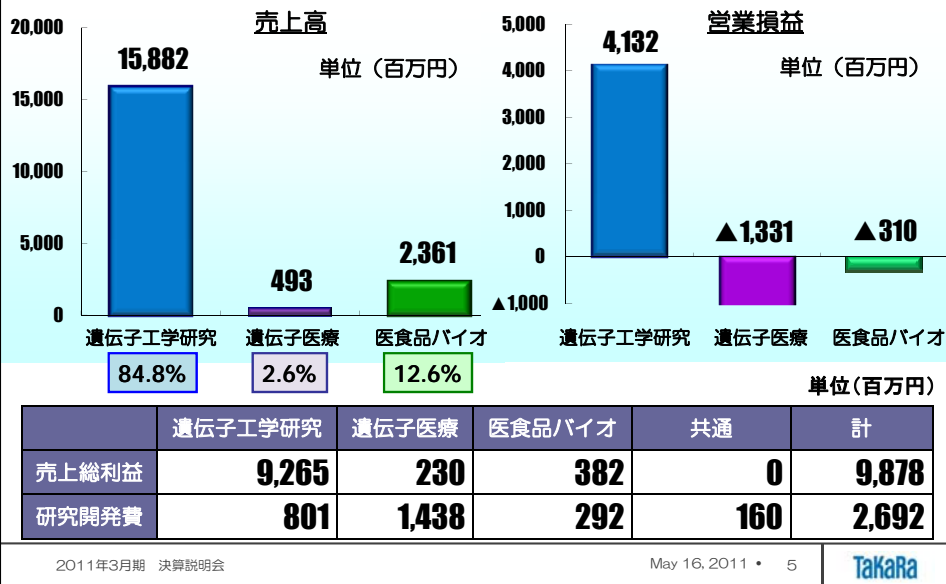
2011年3月期 決算説明会

May 16, 2011 • 4

TaKaRa

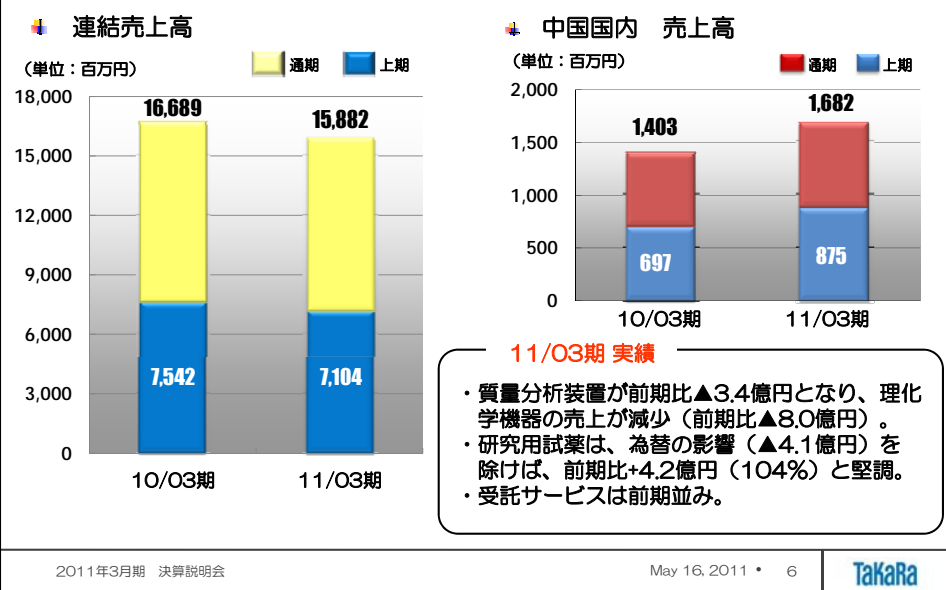
セグメント情報（連結）

11/03期



セグメント別売上高（連結） 遺伝子工学研究事業（1）

11/03期



11/03期

セグメント別売上高（連結） 遺伝子工学研究事業（2）

研究用試薬の外部売上高

（単位：百万円）

	10/03期 実績	11/03期 実績	前期比	為替の影響 (前期比)
日本	5,100	5,131	31	0
米国	3,036	2,988	▲48	▲199
欧州	1,540	1,229	▲311	▲148
中国	1,123	1,413	290	▲81
韓国	362	405	43	+11

クロンテック社製品の外部売上高

（単位：百万円）

10/03期 実績	11/03期 実績	前期比	為替の影響 (前期比)
4,366	4,081	▲285	▲262

2011年3月期 決算説明会

May 16, 2011 • 7

TaKaRa

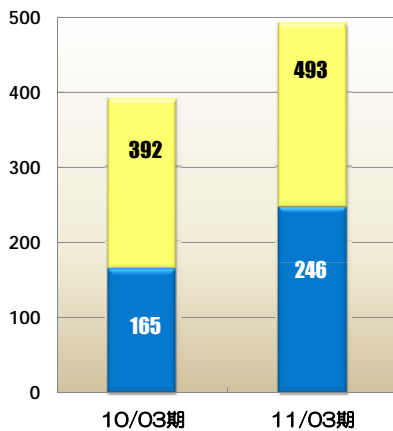
11/03期

セグメント別売上高（連結） 遺伝子医療事業

連結売上高

（単位：百万円）

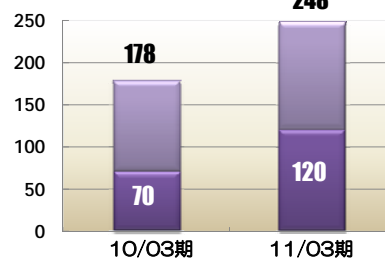
通期 上期



中国における培地・バッグの売上高

（単位：百万円）

通期 上期



11/03期 実績

- ・中国でのがん免疫細胞療法向け培地・バッグの売上が増加（前期比+0.7億円）
- ・がん免疫細胞療法の技術支援サービスの売上増（前期比+0.8億円）

2011年3月期 決算説明会

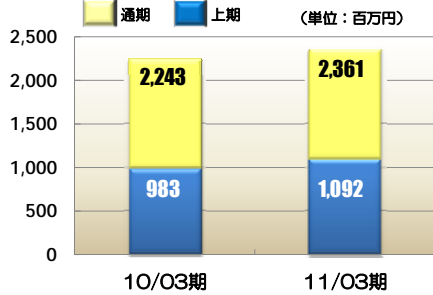
May 16, 2011 • 8

TaKaRa

セグメント別売上高（連結） 医食品バイオ事業

11/03期

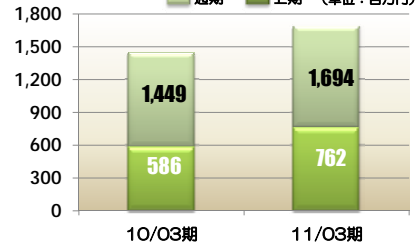
連結売上高



健康食品その他



キノコ事業



11/03期 実績

- ・ 残留農薬検査事業の終了による健康食品事業の売上減（前期比▲1.2億円）
- ・ ハタケシメジ・ホンシメジの自社全量販売の開始によるキノコ事業の売上増（前期比+2.4億円）

2011年3月期 決算説明会

May 16, 2011 • 9

TaKaRa

中期経営計画について

2014年3月期までの業績目標
および各事業における施策

2011年3月期 決算説明会

May 16, 2011 • 10

TaKaRa

タカラバイオグループ連結業績目標

中期計画

(単位：百万円)

	12/03期予算	13/03期計画	14/03期計画
売上高	19,800	21,200	22,700
営業利益	1,100	1,200	1,300
経常利益	1,300	1,350	1,400
当期純利益	680	780	830
研究開発費	3,072	3,498	4,117

セグメント別営業利益

	12/03期予算	13/03期計画	14/03期計画
遺伝子工学研究	4,230	4,562	4,910
遺伝子医療	▲1,614	▲1,755	▲2,006
医食品バイオ	27	32	54
共通	▲1,543	▲1,638	▲1,658

2011年3月期 決算説明会

May 16, 2011 • 11

TakaRa

セグメント別 売上目標

中期計画

(単位：百万円)

	12/03期 予算	13/03期 計画	14/03期 計画
研究用試薬	11,934	12,762	13,504
理化学機器	2,582	2,582	2,590
受託	1,796	1,896	1,996
その他	341	390	390
遺伝子工学研究	16,655	17,632	18,482
遺伝子医療	648	971	1,533
健康食品	595	650	717
キノコ	1,901	1,946	1,968
医食品バイオ	2,496	2,596	2,685
売上高 合計	19,800	21,200	22,700

○研究用試薬は、海外売上の拡大等により毎年約6%伸ばす。

○遺伝子医療は、新規事業立ち上げによる売上増を目指す。

○健康食品は、エビデンスデータを強化しつつ、B to B事業を伸ばす。

○キノコは、12/03期に生産量の拡大により前期比+2億円とし、13/03期以降はほぼ横ばいを見込む。

※遺伝子工学研究セグメントにおいて品目のくくり直しを行い、「その他」から「理化学機器」へ562百万円、「研究用試薬」へ8百万円移動させています。

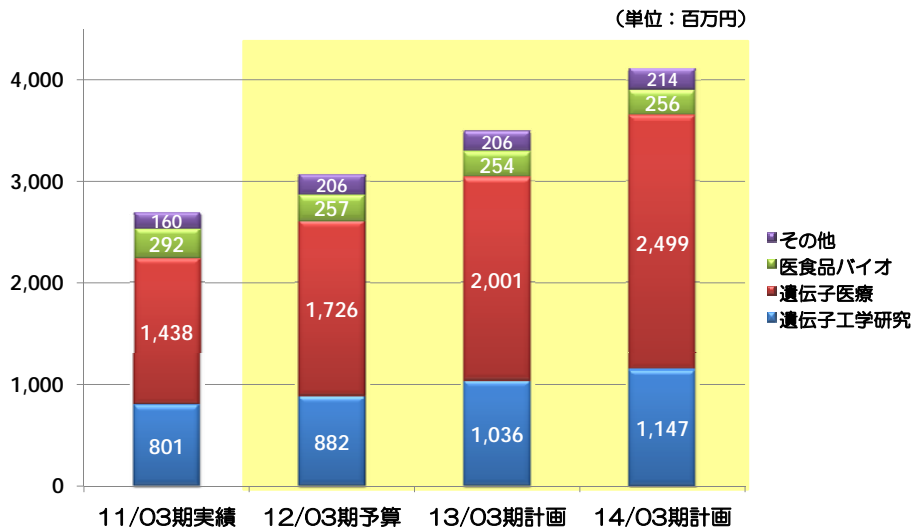
2011年3月期 決算説明会

May 16, 2011 • 12

TakaRa

研究開発費（連結）

中期計画



2011年3月期 決算説明会

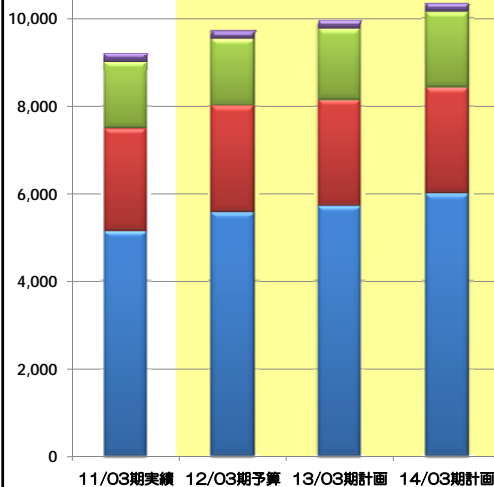
May 16, 2011 • 13

TaKaRa

遺伝子工学研究事業の施策（1）：日本

中期計画

タカラバイオの外部売上高 (単位：百万円)



1 遺伝子工学から細胞生物学へ

2 研究支援から産業支援へ

3 基礎研究支援から先端研究支援へ

- ・リアルタイムPCR関連製品
- ・高速シーケンス関連製品・受託サービス
- ・Applied Field（分子診断、動物感染症診断、食品分析、環境分析、ヒトゲノム定量等）
- ・マッハライ・ナーゲル社製品等、当社グループの製品と補完的な導入品

■ その他
■ 受託
■ 理化学機器
■ 研究用試薬

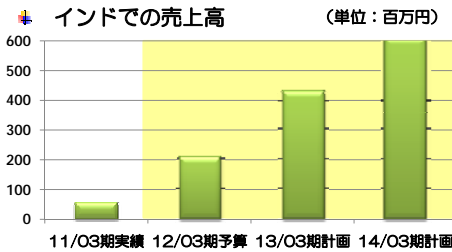
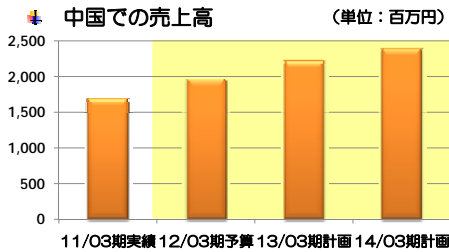


2011年3月期 決算説明会

May 16, 2011 • 14

TaKaRa

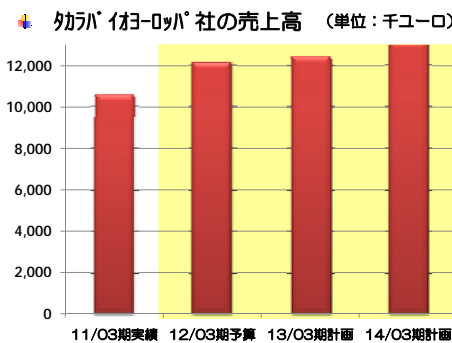
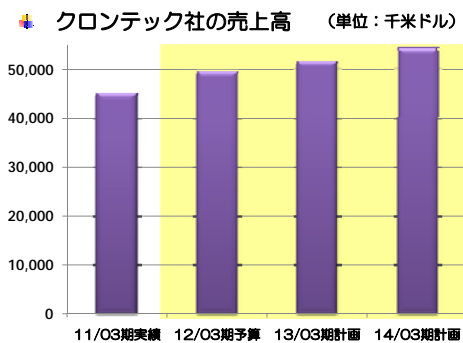
遺伝子工学研究事業の施策（2）：中国・インド



- 中国において、毎年15%程度の売上高の伸びを継続
- PCR、リアルタイムPCR、クローニング、遺伝子機能解析製品の拡販
- 2011年National Natural Sciences Foundation of China (NSFC)の研究 Grant 予算は、120億円で前年比117%。
(Science, Vol. 331, 11 Mar. 2011)

- インドDSS Imagetech社と、タカラバイオ-DSSインド㈱を設立(出資比率：当社グループ51%、DSS社グループ49%)し、2011年6月より事業開始予定。
- インドにおける、タカラバイオ・クロンテック製品の拡販を行う。
- バルク酵素の分注・QCから開始し、試薬製造を徐々に立ち上げていく。

遺伝子工学研究事業の施策（3）：米国・欧州

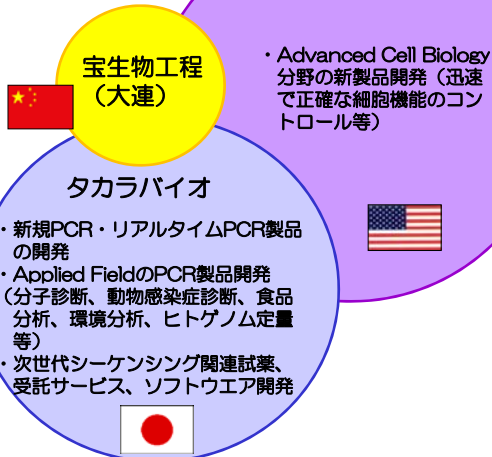


- 大型新製品である高速シーケンサー用試薬、タンパク質間相互作用解析用試薬等の販促。
- Advanced Cell Biology分野の新技术・新製品の開発を推進。
- e-コマースの導入、販売体制強化。

- タカラバイオ・クロンテック製品の代理店網の再編。
- 主要市場であるイギリスとドイツにおける直販体制の強化
- Webサイトをクロンテック社と統合

遺伝子工学研究事業の施策（４）：研究開発体制

- ・新規酵素の開発・製品化
- ・品質向上とコストダウンのための製造法の改良



2010-11に発売した新製品

TakaRa

- ・EpiScope MSP Kit (メチル化解析)
- ・SYBER® Premix Ex Taq™ (リアルタイムPCR)
- ・MightyAmp® DNA Polymerase Ver. 2 (PCR酵素)

Clontech

- ・iDimerize™ Inducible dimerization systems (タンパク質間相互作用解析)
- ・SMARTer Ultra Low RNA Kit for Illumina Sequencing (微量サンプルからの高速シーケンサー用試薬)
- ・Tet-On® 3G™ Inducible Expression System (遺伝子発現制御)

医食品バイオ事業の施策（１）：健康食品事業

医食品バイオ事業の営業利益 (単位：百万円)



1 12/03期の営業黒字化

2 機能性食品素材のヒト試験によるエビデンス強化

3 B to B市場での売上拡大

- ・ガゴメ昆布フコイダン：免疫活性化作用、インフルエンザ予防作用など
- ・アガロオリゴ糖：関節炎予防作用、美容作用（シワ予防など）
- ・明日葉カルコン：メタボリックシンドローム改善作用
- ・トゲドコロ/ヤムスゲニン：脂肪燃焼作用や運動能力の向上作用
- ・ボタンボウフウ：血流改善作用、排尿改善作用
- ・きのこテルペン：抗腫瘍作用



医食品バイオ事業の施策（2）：キノコ事業

- 4 キノコの生産技術向上によるコストダウン
- 5 キノコ栽培技術・ノウハウのライセンス事業の拡大
- 6 高付加価値キノコの新規栽培法の確立

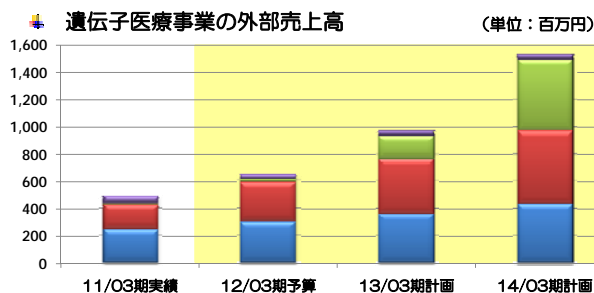
		11/03期実績	12/03期予算
ハタケシメジ	売上高	672百万円	942百万円
	生産量	約1,190トン	約1,420トン
ホンシメジ	売上高	259百万円	337百万円
	生産量	約132トン	約149トン
フナシメジ (きのこセンター金武)	売上高	136百万円	136百万円
	生産量	約260トン	約260トン



遺伝子医療事業の施策（1）：収益事業の拡大

- 1 がん免疫細胞療法支援サービス事業の拡大
- 2 中国での細胞培養用培地・バッグの売上拡大
- 3 バイオ医薬品の臨床開発支援事業の拡大

- ⇒ 提携先クリニックの増加
(百万遍クリニック、ただだ診療所、藍野病院)
- ⇒ 中国でのがん免疫細胞療法の需要の増加
- ⇒ 遺伝子治療用ベクター等の製造受託の拡大
・バイオ医薬品（タンパク質医薬・抗体医薬・iPS細胞等）の安全性試験のサービス提供を開始（英国Vitrology社と提携）

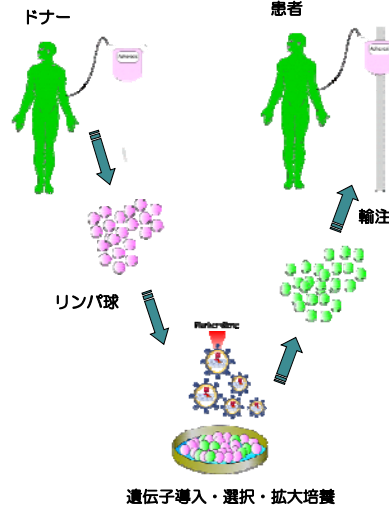


遺伝子医療事業の施策（2）HSV-TKプロジェクト

HSV-TK遺伝子治療

目標：2017年度の商業化

- ①ドナーリンパ球輸注療法（再発白血病）
国立がん研究センターで第I相臨床試験を実施中
 - ・被験者登録促進のため、再発前に細胞調製できるよう、治験実施計画を変更
- ②ハプロAdd-back（造血器悪性腫瘍）
国立がん研究センターで臨床研究実施中
 - ・2011年2月に2例目の遺伝子導入細胞を投与
 - ・伊国モルメド社が、2012年後半に欧州でMarketing Authorization Applicationを行う計画と発表

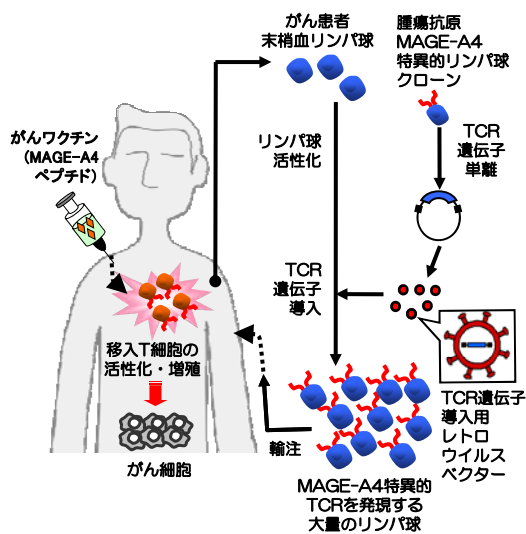


遺伝子医療事業の施策（3）TCRプロジェクト

TCR遺伝子治療

目標：治験を2013年度に開始

- ①三重大学医学部と共同で臨床研究（食道がん）を実施中
 - ・2011年4月に2例目の投与を実施。
- ②次世代ベクターを用いた臨床研究の開始に向けた準備作業を実施中
 - ・臨床研究を2012年度に開始予定



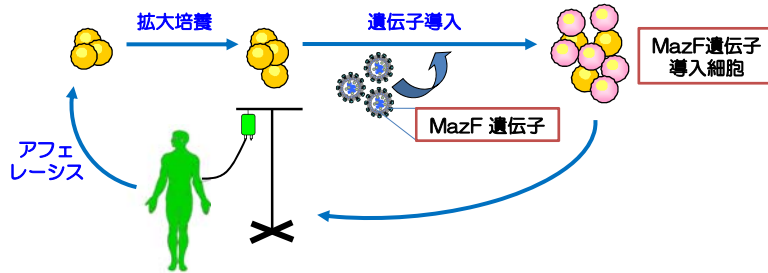
遺伝子医療事業の施策（４）MazFプロジェクト

MazF遺伝子治療

目標：米国での臨床試験を2011年度に開始

ペンシルベニア大学等と共同で、米国臨床試験（HIV）開始に向けた非臨床試験などを実施中

- ・米国国立衛生研究所（NIH）の組換えDNA諮問委員会によるプロトコルの審査を2010年11月に通過



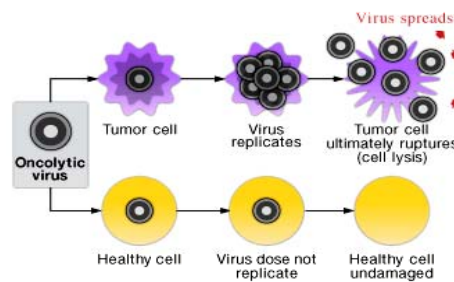
遺伝子医療事業の施策（５）HF10プロジェクト

腫瘍溶解性ウイルスHF10

目標：2018年度の商業化

ピッツバーグ大学等で第I相臨床試験を実施中

- ・2011年1月に5例目にHF10投与
- ・頭頸部がんに加え、メラノーマ、乳がん等の固形がんを追加するため、プロトコルを変更
- ・2012年度に第I相臨床試験を終了予定



腫瘍溶解性ウイルスによるがん治療

遺伝子医療事業の施策（6）細胞医療プロジェクト

レトロネクチン誘導 Tリンパ球 (RIT) 療法

- ①京都市立医科大学
臨床研究（肝細胞がん）2010年7月に開始
- ②三重大学医学部など
臨床研究実施中（食道・卵巣がんなど）

→引き続き、レトロネクチン誘導Tリンパ球療法のエビデンスの蓄積のための臨床研究を推進

NK細胞療法

- 2011年度の臨床研究開始
京都市立医科大学
・臨床研究を実施するための基礎データを取得中



遺伝子医療事業の臨床開発スケジュール

年度	2011 (12/3期)	2012 (13/3期)	2013 (14/3期)	2014 (15/3期)	2015 (16/3期)	2016 (17/3期)	2017 (18/3期)	2018 (19/3期)
HSV-TK 遺伝子治療	国内 第 I 相試験 (DLI) 実施中 (2011年度終了予定)	臨床研究 (ハプロadd-back) 実施中 (2012年度終了予定)	(第 II 相臨床試験)				2017年度 商業化	
HF10	米国 第 I 相試験実施中 (2012年度終了予定)		(第 II 相臨床試験、第 III 相臨床試験)				2018年度 商業化	
MazF 遺伝子治療	2011年度	米国にて第 I 相臨床試験を開始						
TCR 遺伝子治療	臨床研究実施中 (2012年度終了予定)		2013年度 第 I 相臨床試験を開始					
	2012年度	臨床研究 (次世代ベクター) を開始						

※実施中のものを実線の矢印で表記

将来の見通しに関する注意事項

資料中の当社の現在の計画、見通し、戦略、確信などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、これらは現時点において入手可能な情報から得られた当社経営陣の判断に基づくものですが、重大なリスクや不確実性を含んでいる情報から得られた多くの仮定および考えに基づきなされたものであります。実際の業績は、さまざまな要素によりこれら予測とは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える要素には、経済情勢、特に消費動向、為替レートの変動、法律・行政制度の変化、競合会社の価格・製品戦略による圧力、当社の既存製品および新製品の販売力の低下、生産中断、当社の知的所有権に対する侵害、急速な技術革新、重大な訴訟における不利な判決等がありますが、業績に影響を与える要素はこれらに限定されるものではありません。

お問合せ先：事業開発部
E-mail: bio-ir@takara-bio.co.jp

参考資料

- ・ 11/03期 セグメント別売上高（連結）
- ・ 会社別業績（10年3月期～12年3月期）
- ・ セグメント別業績（11年3月期～14年3月期）
- ・ 遺伝子工学研究事業外部売上高（12年3月期）
- ・ 12/03期予算 セグメント情報（連結）
- ・ 遺伝子治療・細胞医療の臨床開発

【参考資料】

11/03期 セグメント別売上高（連結）

（単位：百万円）

	11/03期	1/28見込比		前期比	
		増減	増減率	増減	増減率
研究用試薬	11,168	▲24	▲0.2%	+4	±0.0%
理化学機器	1,951	▲116	▲5.6%	▲805	▲29.2%
受託	1,778	▲31	▲1.8%	▲4	▲0.2%
その他	984	+39	+4.1%	▲1	▲0.2%
遺伝子工学研究	15,882	▲133	▲0.8%	▲806	▲4.8%
遺伝子医療	493	+8	+1.7%	+101	+25.7%
健康食品その他	667	+21	+3.4%	▲126	▲16.0%
キノコ	1,694	▲58	▲3.4%	+244	+16.9%
医食品バイオ	2,361	▲37	▲1.5%	+117	+5.3%
売上高合計	18,737	▲162	▲0.9%	▲588	▲3.0%

2011年3月期 決算説明会

May 16, 2011 • 29

TakaRa

【参考資料】

会社別業績

（単位：百万円）

	従業員数 ^{**}	10年3月期実績		11年3月期実績		12年3月期予算	
		売上高	経常利益	売上高	経常利益	売上高	経常利益
タカラバイオ（単体）	359	13,954	752	13,653	927	14,567	831
瑞穂農林	18	704	▲59	654	▲67	807	28
カガパ イファニング センター	0	25	4	31	▲3	13	3
きのこセンター金武	7	135	22	136	28	136	18
Takara Bio Europe *	26	1,546	224	1,233	133	1,335	99
宝生物工程（大連）*	483	2,285	609	2,536	808	2,784	858
宝日生物技術（北京）*	32	539	75	619	66	653	41
Takara Korea Biomedical *	26	495	109	523	79	504	48
Clontech Laboratories *	127	4,297	▲339	3,965	▲138	3,969	▲49

計 1,078

** 従業員数は、2011年3月31日現在

* 海外子会社は、決算期が1-12月であり、数値は各年1-12月実績

2011年3月期 決算説明会


May 16, 2011 • 30

TakaRa

【参考資料】

セグメント別業績（１）


（単位：百万円）	遺伝子工学研究	遺伝子医療	医食品バイオ	共通	計
<11/03期 実績>					
売上高	15,882	493	2,361	0	18,737
売上総利益	9,265	230	382	0	9,878
販売費及び 一般管理費	5,133	1,562	692	1,393	8,781
内、研究開発費	801	1,438	292	160	2,692
営業利益	4,132	▲1,331	▲310	▲1,393	1,097
<12/03期 予算>					
売上高	16,655	648	2,496	-	19,800
売上総利益	9,734	280	679	-	10,694
販売費及び 一般管理費	5,503	1,895	652	1,543	9,594
内、研究開発費	882	1,726	257	206	3,072
営業利益	4,230	▲1,614	27	▲1,543	1,100

2011年3月期 決算説明会 May 16, 2011 • 31 

【参考資料】

セグメント別業績（２）

（単位：百万円）	遺伝子工学研究	遺伝子医療	医食品バイオ	共通	計
<13/03期 計画>					
売上高	17,632	971	2,596	-	21,200
売上総利益	10,453	423	688	-	11,565
販売費及び 一般管理費	5,891	2,179	655	1,638	10,364
内、研究開発費	1,036	2,001	254	206	3,498
営業利益	4,562	▲1,755	32	▲1,638	1,200
<14/03期 計画>					
売上高	18,482	1,533	2,685	-	22,700
売上総利益	11,177	688	729	-	12,595
販売費及び 一般管理費	6,266	2,695	674	1,658	11,294
内、研究開発費	1,147	2,499	256	214	4,117
営業利益	4,910	▲2,006	54	▲1,658	1,300

2011年3月期 決算説明会 May 16, 2011 • 32 

遺伝子工学事業 外部売上高

研究用試薬の外部売上高

(単位：百万円)

	11/03期 実績*	12/03期 予算	前期比
日本	5,139	5,567	427
米国	2,988	2,965	▲ 22
欧州	1,229	1,333	103
中国	1,413	1,664	251
韓国	405	403	▲ 2

為替の影響（前期比）：米国 ▲288百万円
 欧州 ▲76百万円
 中国 ▲61百万円
 韓国 ▲33百万円

*日本の実績は、12/03期より一部品目のくくり直しを行っているため、11/03期も同様にくくり直した数値を表記

クロンテック社製品の外部売上高

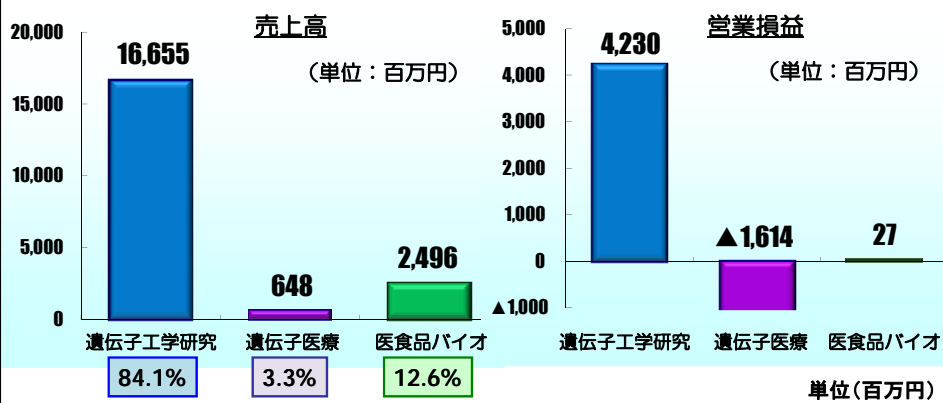
(単位：百万円)

11/03期 実績	12/03期 予算
4,081	4,054

為替の影響（▲2.8億円）等を含む



12/03期予算 セグメント情報（連結）



	遺伝子工学研究	遺伝子医療	医食品/バイオ	共通	計
売上総利益	9,734	280	679	0	10,694
研究開発費	882	1,726	257	206	3,072

遺伝子治療・細胞医療の臨床開発（1）

	対象疾患	提携先	現状・今後
HSV-TK遺伝子治療 (ドナーリンパ球輸注療法) (治験)	再発 白血病	国立がん研究 センター	・2008年10月に第Ⅰ相臨床試験開始 ・2011年度に終了予定
HSV-TK遺伝子治療 (ハプロタイプ一致造血幹細胞移植 後のドナーリンパ球追加輸注療法) (臨床研究)	造血器 悪性腫瘍	国立がん研究 センター	・2009年12月に臨床研究開始 ・2012年度に終了予定
TCR遺伝子治療・wtMA24 (臨床研究)	食道がん	三重大学医学 部	・2009年8月に臨床研究を開始 ・2012年度に終了予定
TCR遺伝子治療・siMA24(RN-T) (臨床研究)	食道がん	三重大学医学 部等	・2012年度に臨床研究を開始予定
TCR遺伝子治療・siWT24(RN-T) (臨床研究)	造血器腫瘍 脳腫瘍	三重大学医学 部等	・2012年度に臨床研究を開始予定
MazF遺伝子治療 (治験)	HIV	ペンシルベニ ア大学等	・米国での第Ⅰ相臨床試験を2011年 度に開始予定

遺伝子治療・細胞医療の臨床開発（2）

	対象疾患	提携先	現状・今後
HF10 (がん治療薬) (治験)	頭頸部がん 等	ピッツバーグ 大学等	・米国第Ⅰ相臨床試験実施中、2012年度 に終了予定
レトロネクチン誘導Tリンパ球 療法 (臨床研究)	食道がん、 卵巣がん等	三重大学医学 部等	・2008年3月に臨床研究を開始 ・2011年度に終了予定
レトロネクチン誘導Tリンパ球 療法 (臨床研究)	肝細胞がん	京都府立医科 大学	・2010年7月に臨床研究を開始 ・2015年度に終了予定
レトロネクチン誘導Tリンパ球 療法 (臨床研究)	難治性がん 肝細胞がん	天津医科大学 中山大學	・天津医科大学、中山大學で有償治療の 申請済み。細則の公表待ち。